

多面的機能支払(農地・水・環境保全向上対策)の紹介

足坂農地・水保全組織(津市)

設立年、平成25年。構成員 代表1名、書記1名、会計1名、
会員13人。営農組合1組合、まめカフェ(女性ボランティア11名)

高齢化・後継者不足により、比較的に条件のいい農地であっても、耕作放棄が発生する状況が強まっている中、一部で荒廃地が発生すれば、雪崩的に農地が荒れることに対し、集落として危機感を抱いていました。

特に、条件の悪い傾斜地では、荒れる危険性が高いため、傾斜地に農地を有する所有者が集まり、共同意識を高めて、ともに集落内の条件不利農地を守っていく取り組みを開始することになりました。

農地維持活動として、自治会や老人会の協力を得て、地域の草刈りや水路の維持管理に取り組むのはもちろんのこと、特色ある活動として、足坂農家組合の女性部のボランティアが中心となって、古民家を活用した地域の交流の場、地域の絆を深める場として「まめカフェ」を運営しています。



また、美里町にある、みさとの丘学園の子どもたちと田植え作業を行い、農業の楽しさや興味を知ってもらう取り組みを行っています。

その他、組織の活動に賛同いただける企業と、草刈り等の共同作業や、たけのこの収穫体験を行いました。農業とのかかわりが普段はない方にも、収穫の喜びだけではなく、草刈り等の日々の地道な活動の大切さも知っていただける場となっています。

交流活動以外でも、農道の法面に、「地域の花桃街道を作ろう」を合言葉に、花桃の植付作業や草刈作業を行い、維持管理をしています。私たち組織の活動地域である美里町足坂地域は、グリーン道路と国道163号線(旧伊賀街道)が交わる場所で目に留まりやすく、美里を行き交う方々に、このような活動も農業の一環であることを周知しています。



女性部のボランティアのまめカフェ



地域の小学校との田植え体験学習会



地域の共同活動

江戸時代から地域で栽培していた大豆が、優良な品種であったことから「美里在来」として、生産・販売に力を入れ、地域おこしに取り組んでいます。

また、同じ町名であることが縁で、獣害対策などを通じて島根県的美郷町の団体と相互の訪問による地域間交流を行い、地域の活動を活発に行っています。

組織の構成員の力はもちろんのこと、いろいろな方との経験の積み重ねが力となり、農業を継承していくための取り組みを行っています。

時代の流れにより集落機能を維持していくことが困難となってきましたが、様々な活動により、集落内の一体感は醸成されています。このまとまりの良さは、周りの集落からも羨まれる状況でもあります。



島根県的美郷町の交流に繋がった獣害対策

これは、一朝一夕で築かれるものではなく、活動の積み重ねの賜物です。今後も現在の活動を継続していくことが非常に大切であり、課題があります。

里山の近くある美里町の足坂地区は、獣害の被害について深刻でしたが、江戸時代から栽培されていた『美里在来大豆』の栽培・普及に力を入れ、地元の女性ボランティアの尽力により、『まめカフェ』を開店し、地区内外の憩いの場を作っています。

そのような地域の活動に取り組むなか、同じ地名が縁で島根県的美郷町との交流が始まり、獣害対策を中心に、地域振興に繋げた先進地の視察を行って、交流を続けています。



島根県的美郷町と共同で開発した商品



大豆「美里在来」とその「きな粉」